



阿蘇高原
1974

田崎廣助展覧会

— 東洋の心 —

ふるさと展

八女市立花町出身で文化勲章受章者である洋画家 田崎廣助の作品展を故郷八女市で開催。
田崎美術館(長野県軽井沢町)所蔵の作品と八女市所蔵の作品26点を展示します。

2014.1.19[日] ≫ 1.26[日] 9:00~17:00 **入場料 無料**
八女市民会館 おりなす八女 はちひめホール
福岡県八女市本町602-1 TEL 0943-22-5332



記念事業

田崎美術館館長 坂本佳久氏 講演会
「田崎廣助と東洋の心」

2014.1.19[日] 11:00~12:00

八女文化会館 福岡県八女市本町537-2 TEL 0943-22-5332

入場料 無料

主催 | 八女市教育委員会
共催 | 九州芸文館美術展実行委員会
後援 | 八女市文化連盟連合会

◎問い合わせ先
八女市教育委員会 文化課 文化振興係
TEL 0943-23-1982

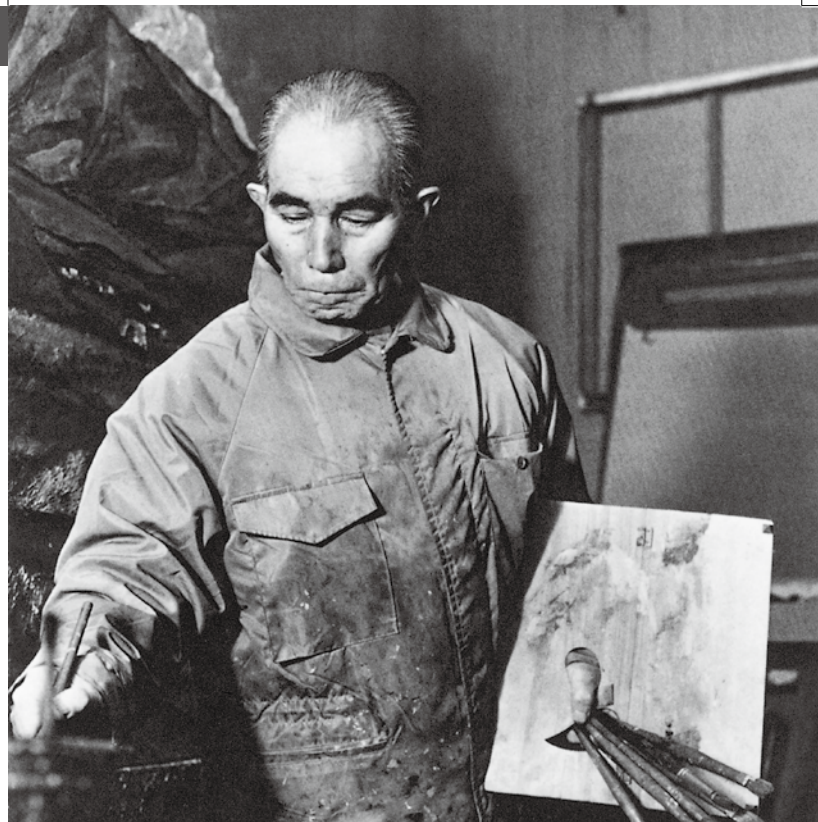
田崎廣助画伯

プロフィール

明治31年(1898)に福岡県八女郡北山村(現八女市立花町)に生まれた田崎は、福岡師範学校(現・福岡教育大学)卒業後、上京し、坂本繁二郎に師事。大正15年(1926)二科展初入選後は数々の賞を受賞しました。

風景画、特に日本の山を多く描き、その中でも阿蘇を題材にした作品は数多く描かれています。

代表作は「初夏の阿蘇山」。昭和42年(1967)日本芸術院会員となり、昭和50年(1975)には文化勲章を受賞しました。



略歴

- 明治31年(1898) 9月1日福岡県八女郡北山村(現八女市立花町)に生まれる。(本名:廣次)
- 大正5年(1916) 福岡県立八女中学校卒業。
- 大正6年(1917) 福岡県立福岡師範学校第二部卒業。
- 大正12年(1923) 京都関西美術院に学ぶ。
- 大正15年(1926) 9月 二科展初入選。
- 昭和7年(1932) この年より昭和9年までパリ滞在。サロン・ドートンヌ入選。
- 昭和10年(1935) 9月 二科展に滞欧作7点を特別陳列。
- 昭和12年(1937) 一水会創立とともに同会に所属。同じく一水会審査委員。
- 昭和13年(1938) 一水会賞を受賞。同時に一水会委員となる。
- 昭和17年(1942) 一水会出品作「松林と海」(200号)相武台御座所へ献上。
- 昭和24年(1949) 日展審査委員となる。
- 昭和25年(1950) 「外輪山の阿蘇」文部省買上げ。
- 昭和27年(1952) 「高原の浅間山風景」東宮御所へ献上。
- 昭和36年(1961) 日本芸術院賞を受賞。国際文化交流展へ出品。リーダーズダイジェスト世界美術展へ出品。
- 昭和42年(1967) 日本芸術院会員となる。
- 昭和43年(1968) 勲三等瑞宝章を受章。
- 昭和48年(1973) ブラジル政府より最高名誉文化章を受章。
- 昭和50年(1975) 文化勲章受章。日展顧問となる。
- 昭和54年(1979) 日伯美術連盟会長就任。
- 昭和55年(1980) 熊本県阿蘇国民休暇村に画碑が建てられる。
- 昭和59年(1984) 1月28日永眠。

平成25年度 九州芸文館(筑後広域公園芸術文化交流施設) 展覧会事業

特別展「没後30年 田崎廣助

—巨匠、八女よりいづる—

平成26年1月11日[土]~2月23日[日]

九州芸文館 福岡県筑後市大字津島1131
問い合わせ先 TEL 092-643-3724(福岡県庁公園街路課内)

【開館時間】 10:00~17:00(入場は16:30まで)

【休館日】 毎週月曜日、1月14日(火)※1月13日(月)は祝日のため開館

【観覧料】 一般/500円(300円) 高大生/300円(100円)

※()内は20名以上の団体料金、65歳以上の方は特別割引料金(300円)

おりなす八女~九州芸文館間の

シャトルバス運行



◇運行時刻

	おりなす八女発	九州芸文館発
1月19日(日)	11:00	12:00
	13:00	14:00
	15:00	16:00

	おりなす八女発	九州芸文館発
1月25日(土)・ 26日(日)	10:00	11:00
	12:00	13:00
	14:00	15:00
	16:00	16:30